

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年11月4日 (2016.11.4)

【公表番号】特表2016-505645(P2016-505645A)

【公表日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-541940(P2015-541940)

【国際特許分類】

C 0 8 F 12/08 (2006.01)

C 0 8 L 25/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/01 (2006.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/06 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 12/08

C 0 8 L 25/04

C 0 8 K 5/01

C 0 8 L 7/00

C 0 8 L 9/00

C 0 8 L 9/06

C 0 8 K 5/09

B 6 0 C 1/00 A

B 6 0 C 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月9日 (2016.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴム組成物の粘弾特性を平衡化する方法であって、前記方法が、50%～100%の現代炭素原子を含むスチレンモノマーを含有する少なくとも1種類のポリマー又はコポリマーの5～100phrを、ゴム組成物に組み込む工程を含み、前記平衡化された粘弾特性が転がり抵抗及びウェットトラクションであり、前記平衡化が、

a．前記現代炭素含有ポリマー又はコポリマーの代わりに、現代炭素原子を含有しないポリマー又はコポリマーを含む対照ゴム組成物と比較して、転がり抵抗を維持又は減少させつつ、ウェットトラクションを増加させること、又は

b．前記現代炭素含有ポリマー又はコポリマーの代わりに、現代炭素原子を含有しないポリマー又はコポリマーを含む対照ゴム組成物と比較して、ウェットトラクションを50%超増加させ、かつ転がり抵抗を50%未満増加させること、のいずれかを含む、ゴム組成物の粘弾特性を平衡化する方法。

【請求項 2】

50%～100%の現代炭素原子を含むスチレンモノマーを含有する前記少なくとも1種類のポリマー又はコポリマーが、先端、末端、及びポリマー主鎖の1つ以上において官能化され、あるいはカップリングにより官能化される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

50%～100%の現代炭素原子を含むスチレンモノマーを含有する前記少なくとも1種類のポリマー又はコポリマーが、前記ゴム組成物中に50～100phrの量で存在する、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

50%～100%の現代炭素原子を含むスチレンモノマーを含有する前記少なくとも1種類のポリマー又はコポリマーが、スチレン-ブタジエンコポリマーを含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記ゴム組成物が、さらに、95phr以下の、ポリイソブレン、ポリブタジエン、エマルジョンスチレン-ブタジエンコポリマー、溶液スチレン-ブタジエンコポリマー、天然ゴム、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、少なくとも1つの追加ポリマー又はコポリマーを含み、かつ5～200phrの少なくとも1種類の補強充填剤を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項に記載の方法から生成するゴム組成物を含む、タイヤ部品。

【請求項7】

a. 5～100phrの、50%～100%の現代炭素原子を含むスチレンモノマーを含有する少なくとも1種類のポリマー又はコポリマー、

b. 0～95phrの、ポリイソブレン、ポリブタジエン、エマルジョンスチレン-ブタジエンコポリマー、溶液スチレン-ブタジエンコポリマー、天然ゴム、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、少なくとも1つの追加ポリマー又はコポリマー、並びに

c. 5～200phrの少なくとも1種類の補強充填剤を含むゴム組成物であって、前記ゴム組成物が転がり抵抗及びウェットトラクションを含む平衡化された粘弾特性を示し、前記平衡化が、

d. 前記現代炭素含有ポリマー又はコポリマーの代わりに、現代炭素原子を含有しないポリマー又はコポリマーを含む対照ゴム組成物と比較して、転がり抵抗を維持又は減少させつつ、ウェットトラクションを増加させること、又は

e. 前記現代炭素含有ポリマー又はコポリマーの代わりに、現代炭素原子を含有しないポリマー又はコポリマーを含む対照ゴム組成物と比較して、ウェットトラクションを50%超増加させ、かつ転がり抵抗を50%未満増加させること、  
のいずれかを含む、ゴム組成物。